

臨床研究等の情報公開

研究課題名	術前補助化学療法(NAC-GS)を施行した解剖学的切除可能膵癌における術後早期再発の予測因子を検討する全国多機関後方視的検討
研究機関	富山大学 学術研究部医学系外科学(消化器・腫瘍・総合外科) 青森市民病院 外科 他
研究内容	<p>膵癌に対する治療戦略は切除可能性分類に従って行われています。その中で、切除可能膵癌に対しては、ゲムシタビン塩酸塩とティーエスワンを用いた術前補助化学療法(NAC-GS)を行うことが標準治療とされています。しかし、NAC-GS後に根治切除術を施行しても、術後早期に再発をきたすことがあります。NAC-GS後に根治切除した場合の生存成績について多数例での詳細な検討の報告はなく、早期再発の予測因子は明らかではありません。</p> <p>本研究ではNAC-GS後の切除可能膵癌における術後早期再発の予測因子を同定することを目的とし、このことは膵癌の治療戦略の再考や更なる予後延長にとって重要です。</p>
実施期間	実施許可日～2027年12月31日
対象者	2019年1月1日から2024年6月30日までの間に、切除可能膵癌に対して、NAC-GSで初回治療を開始後に根治切除術を受けた方
実施方法	<p>臨床データを電子カルテより収集します。当院で集積したデータは富山大学の研究事務局へ、個人を特定されない状態で提供します。</p> <p>データの保管は青森市民病院外科において鍵のかかるキャビネット内で10年間保存し、廃棄の場合はシュレッダー処理を行います。</p>
参加撤回の自由	患者個人が特定されるような情報は利用せず、公開も行いません。患者さんが解析対象となることを望まない場合、研究対象から除外します。担当医師にご連絡ください。その場合、診療において不利益となることはありません。
問合せ先	研究に関するご質問、資料などについての問い合わせは下記にご連絡ください。 研究責任者：豊木 嘉一（とよき よしかず） 030-0821 青森市勝田 1-14-20 青森市民病院 外科 TEL：017-734-2171（代表） メール：toyoki_yoshikazu@aomori-city-hospital.jp